

連合会だより 66号

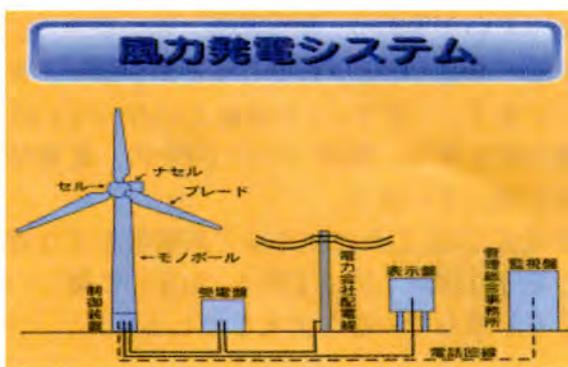
2015 年度役員研修会が行われました

平成 28 年 2 月 17 日、本年度の役員研修会が群馬県吉岡町にある「吉岡エネルギーパーク」にて行われ、坂東発電所所長の説明をもとに施設内の自然エネルギー設備を研修してきました。

群馬県企業局は吉岡町の協力を得て利根川右岸の緑地公園に「自然環境との調和」をテーマとした自然エネルギーパークを作りました。ここには県営の風力発電所と小水力発電所、町営の太陽光発電設備と地熱利用の温泉があり県外からも多くの訪問者があるそうです。



風力発電所は、ポール頂上にある羽根が風力で回転し発電機が稼働、発電します。最大出力は 300kW、ポールの高さ 41.5m、羽根の直径は 30m、総重量 55 トンの風車で風の向きに合わせて角度が微調整できるといった最新技術を備えた発電所です。



水力発電所は農業用水を利用した小水力発電所で、この発電所の最大出力は 540kW、最大使用水量 10.4 m³/s、水車型発電機 150kW4 台、約 3km 上流から利根川の水を引いており最大落差は 7.36m しかありま

せん。このタイプの小水力発電所は大型の水力発電所のような水量や落差のない場所にも設置でき経費やメンテナンスの面での負担が軽減できるメリットがあるということです。



太陽光発電パネルは道の駅「リバートピア吉岡」の屋根に 150 枚設置されていました。この発電機の最大出力は 20kW、太陽電池は 21.5kW、蓄電池は MES 型、容量 150Ah(8kW/日)です。この規模の発電パネルは町田市内でも見かけることがあります。



地熱利用の温泉施設は外から見ただけですが何人かの人たちが足湯を楽しんでいました。休日ともなると大勢の利用があるとのことでした。

【まとめ】

風力発電所の建設総工費は 1.3 億円、水力発電所の建設総工費は 4.6 億円だったそうですが、いずれの施設も自然を相手にする難しさ故に事業計画通りの採算はとれていないようです。それでも自然エネルギーを利用することにより化石燃料の使用を最小限にして大切な石油を次世代に残すという大きな目標に向かって日々の業務に励んでいるとのことでした。

(編集委員 山田義雄)

「玉川学園・南大谷地区協議会」が始動

玉川学園・南大谷（玉南）地区では、2013年度から準備をしてきた「玉川学園・南大谷地区協議会」が、2015年7月16日に設立総会を開き、発足しました。さらに10月29日には市民協働おうえんルームで臨時総会を開き、本年度事業として広報活動に力点を置く予算を採択して動きだしました。

2016年2月に発行のニュース第2号では、同地区協議会の来年度に向けての事業計画案の例が述べられています。

同協議会に関するお問い合わせは、玉川学園コミュニティセンター内・同協議会事務局まで。電話：042-732-9372)

またホームページURLは次の通りです。

<http://tgmotikukyougikai.blogspot.jp/>

もちつき大会（玉南地区交流事業）

2015年12月19日に玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会（玉南連）の主催で、地域交流事業としてもちつき大会を実施しました。昨年度は、町田第五小学校を含めて2校での実施でしたが、今年度は南大谷小学校に絞って実施したものです。

昨年の経験を生かして、蒸籠で餅米をふかすところから始め、臼の中の米が、杵でつくことによって、餅に変化する様子を見てもらい、また実際に、餅をつく体験をしてもらいました。

当日は晴天でしたので、実に617名と多くの児童・父母・町内会／自治会役員等を含む参加者があり、用意した豚汁は11時半過ぎに終了、さらに17臼をつき上げたもちも大好評で、長蛇の列ができた後、13時少し前には全てなくなりました。大成功裡に終わった「もちつき大会」と言えると思います。

玉ちゃんバス 南ルートが発進

玉川学園地区では、「玉ちゃんバス」という愛称で親しまれているコミュニティバスが山坂を縫って、市民の足となっています。玉南連が中心となり、近隣の自治会と共に玉川学園交通問題協議会・コミュニティバス推進委員会というユニークな組織で運行に当たっています。2005年から玉川学園前駅から金井方面まで回る北ルートが走り、2007年からは成瀬台方面まで延びる東ルートが走って、これまでに合計550万人の乗客を運んできました。

当初から計画にあった南ルートは、上記の2ルートよりも道路状況がバス通行に困難な状況で、進捗が遅れていましたが、町田市の努力と小田急バス（株）の協力で、本年2月1日ようやく運行開始にこぎ着けることができました。



運行は、北ルート、東ルートと同じ小田急バス（株）。運賃も他ルートと同様180円（ICカード175円）、小児・障がい者手帳所持者は半額となります。玉川学園前駅南口発、朝6時33分から、夜9時38分まで約25分～30分おきの運行。ルート1周は、約2.6km、約20分の予定となっています。本来なら、新規運行路線には適用されない東京都シルバーパスが、小田急バス（株）のご好意で利用できます。

3路線のルート図と、運行時刻表は、町内会事務所や、玉川学園コミュニティセンター、玉川学園前駅改札ロビーで入手できます。

「玉ちゃんサービス」事業始まる

玉川学園地区には町田市で一番最初に設置された地区社会福祉協議会があります。町内会・自治会や、福祉関係の活動をしている30余りの団体が構成員となっています。2015年9月から、日常生活支援訪問サービス（愛称：玉ちゃんサービス）事業が始まりました。

子育て世代から高齢者世代までの日常生活を支援しようというもので、家事援助、庭の草取り、介助、季節の準備、など「ちょこっとお手伝い」をうたっています。一方で、この活動をにになっていただける協力者を募り、気持（一口1000円）を寄せる賛同者を募っています。

玉南地区では、これに先立って高齢者を主な対象として見守り活動も広げており、お互いに優しいまちづくりが進んでいると言えるでしょう。

（編集委員 松香光夫

<mamat.tamagawa@gmail.com>）